

令和2年度シラバス (公民)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	公民(政治・経済)	単位数	2単位	学年(コース)	6学年(国際文化コース)
使用教科書	第一学習社『高等学校 改訂版 政治・経済』				
副教材等	とうほう『政治・経済資料2020』、啓隆社『新政治・経済ノート』				

1 学習目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係等について客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 指導の重点

- ①現代社会の諸問題を政治・経済の視点から把握するとともに、それに対応する思想の形成過程と特質について追究させる。
- ②さまざまな資料を用いて学習することで、現代世界の問題点を把握し、問題解決を図ろうとする態度を育成する。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原理と日本国憲法	①政治と法の機能 ②人権保障と法の支配 ③議会制民主主義と政治の特質	・民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。	4	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題
5		④日本国憲法の基本原理 ⑤基本的人権の保障と新しい人権	・日本国憲法の成立過程を理解しながら、日本国憲法のもつ意味について理解する。 ・基本的人権、新しい人権について、意欲的に理解を深め、その本質を把握する。	6	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
6		⑥国会の組織と機能 ⑦内閣の機構と機能 ⑧裁判所の機能と人権保障	・国会、内閣、裁判所等の政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を深める。 ・国会・内閣・裁判所の関係とそれぞれの役割について、意欲的に理解する。	6	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
7		⑨地方自治制度と住民の権利 ⑩政党政治と選挙 ⑪世論と現代政治の課題	・望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。 ・地方自治の本旨を理解し、地方分権について関心を高める。	6	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題
8	第2章 現代の国際政治と日本	①国際政治の動向 ②国際社会と国際法 ③国際連合の役割と国際協力 ④安全保障と日本の防衛	・国際政治と国内政治の違いを理解する。また、先進国と発展途上国等のように、国家間に格差が生じていることを把握する。	8	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題
9		⑤国際政治の特質と国際紛争・難民問題 ⑥国際平和と日本の役割	・国際連合の役割を理解する。 ・民族紛争等を例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察する。	6	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

10	第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容と経済のしくみ	①資本主義経済の発展と社会主義経済の変容 ②経済主体と経済活動 ③市場経済の機能と限界 ④経済成長と景気変動 ⑤財政のしくみとはたらき ⑥金融機関のはたらき	・資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較し理解する。 ・経済の基本的な概念や経済理論を学習することによって、現代経済の特質について考える。 ・財政の基本的なしくみや役割について理解する。	6	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題
11		⑦物価の動き ⑧日本経済の歩み ⑨中小企業問題 ⑩日本の農業の現状と課題 ⑪消費者問題	・経済成長とともに人々の生活が豊かになる一方で、公害等の社会問題が発生したことを認識する。 ・消費者問題の現状や消費者運動、さまざまな法制度を新聞記事等の資料を利用して調査する。	8	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
12		⑫労働問題と労働関係の改善 ⑬社会保障制度の充実	・さまざまな視点で最近の労働問題を理解する。 ・日本の社会保障制度を体系的に捉えるとともに、現在の制度上の問題点と課題について考察する。	6	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題
1	第2章 国民経済と国際経済	①国際経済のしくみと現状 ②為替相場のしくみ	・国際経済に関する基本的な概念や理論を理解しながら国際経済における日本が果たすべき役割について考察する。	6	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題
2		③国際協調と国際経済機関の役割 ④国際経済の諸問題と日本の役割	・グローバル化と地域的経済統合について関心をもち、国際協調のために、どのような国際機関が存在するか、把握する。	6	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題
3		⑤環境保全と資源・エネルギー問題	・深刻化している地球規模の環境問題を直視し、どのように乗り越えるか考察する。	2	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題

計 70 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- ・問題集
- ・評価シート

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとしている。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・小テスト ・提出物 などから、総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

「政治・経済」という科目は、政治や経済といった世の中の仕組みを学びながら、社会の構成員として必要な資質や能力を身につける科目です。国際社会に生きる一人の人間として、必要な知識だけでなく、心構えも学んでください。
(担当：小原沢 公啓)